



校 区 探 検

モウコン鳥居

本校の校門付近から、向かいの山腹にひときわ赤く目立つ鳥居が見えます。小和にある御霊神社の一の鳥居で、ここから本殿まで長い参道が続きます。今は車道となり昔の参道はほとんど残っておらず、この鳥居のある辺りだけが昔の面影を残しています。

さて、この鳥居ですが、「モウコン鳥居」という名がついており、その伝説が残っています。嘉禎4年（1238年）、霊安寺町にある御霊神社で宮分けが行われました。このとき、小和から行っていた村役人が立派な神像を奪って逃げたので、他所から集まっていた人々はこれを奪い返そうと追いかけてきました。村役人は吉野川の川岸まで逃げて来ましたが、橋がかかっています。重い神像を背負って泳ぐこともできず、追っ手に捕まる寸前でした。そこに五條町の人がこの村役人を助け、村役人は無事に小和のこの鳥居まで戻ることができました。村役人は追っ手が来ないことを確認して「(追っ手が) もう来ん。」と言いました。それでこの鳥居を「モウコン鳥居」と呼ぶのだそうです。

